

令和8年 第16回八雲町議会全員協議会会議録

令和8年10月13日 議員控室

○報告事項

- (1) 財政健全化事務事業の見直し及び令和9年度予算編成作業にかかる経過報告について
(財務課)

○出席議員（14名）

議長 大久保 建 一 君
赤 井 睦 美 君
横 田 喜世志 君
関 口 正 博 君
水 野 博 美 君
安 藤 辰 行 君
斎 藤 實 君

副議長 宮 本 雅 晴 君
牧 野 仁 君
黒 島 竹 満 君
倉 地 清 子 君
寺 田 広 樹 君
小 西 雄 一 君
三 澤 公 雄 君

○欠席議員（0名）

○出席説明員（5名）

町長 萬 谷 俊 美 君
財務課長 井 口 貴 光 君
財政係長 松 田 教 子 君

副町長 竹 内 友 身 君
財務課長補佐 南 川 達 哉 君

○出席事務局職員（2名）

事務局長 野 口 義 人 君

議事係長 千 代 貴 大 君

◎ 開会・議長挨拶

○議長（大久保建一君） おはようございます。それでは、令和8年第16回全員協議会を始めたいと思います。

議長挨拶とありますが、ちょっと日々寒くなっておりますので、町内でもなんかインフルエンザが流行ってきているかのように聞いておりますので、皆様お体のほう気を付けてお願いいたします。

【財務課職員入室】

◎ 報告事項

○議長（大久保建一君） それでは、報告事項のほうに入ります。財政健全化事務事業の見直しおよび令和9年度予算編成作業にかかる経過報告について、ということで報告をいただきますけれども、その前に、皆様の元に10月9日付で経過報告についてということで文書を流させていただきます。

今日報告いただく状況についてはですね、現段階での内容ということで、これから変更等もあるかと思っておりますので、議員の皆様におかれましては、取り扱いに注意していただきたいという文書が来ておりますので、その辺十分留意した上でいただきたいと思います。

また、本日聞いた内容について、さらに詳しく協議したい場合につきましてはですね、それぞれの所管での協議になると思いますので、その辺もよろしくをお願いいたします。

それでは、報告をお願いいたします。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） おはようございます。それでは、財政健全化の取り組み状況について、ご報告をさせていただきますけれども、報告の前に、予算編成がどのような流れで行われているかということで、配布する資料はございませんけれども、口頭で説明をさせていただきます。

予算は、一次予算と二次予算で編成しておりまして、この区分は、行政内部における予算編成のための取り扱いであります。

一次予算といいますのは、人件費、扶助費、公債費のほか、光熱水費や管理費など、毎年度決まって支出される固定的、経常的な経費であります。

一方、二次予算については、施設の建設や道路整備など、一時的または単年度で終了する事業で、臨時的な経費を言います。これらを合わせて、年度予算として編成をしているところであります。

次に、予算編成の流れでありますけれども、8月上旬に各部署から二次予算の概算要求の提出を受けて、内容を精査し、それをもとに11月中にですね、また、各部署から一次予算と二次予算の本要求を受けて、内容の再精査と町長査定を経て、翌年の2月上旬までに新年度予算編成を完了させるという流れであります。

それで、本日ご報告いたします内容は、二次予算概算要求の精査を行った段階として、予算調整作業中の状況を資料としてまとめたものであります。

今後、見積もり額の変更がないかなど、本要求までの間にさらに精査を重ね、事業費の増減や新規事業の追加、または状況によっては、事業を見送るという判断もあり得るかもしれませんので、お配りしている資料は、未確定の流動的な情報でございます。

この未確定な情報が1人歩きをして、町民の皆様や関係団体の混乱を招くおそれがございますので、先ほど議長のほうからもお話ありましたようにですね、全員協議会のための資料として取り扱いに十分ご注意くださいよう、お願いを申し上げます。

それでは、資料について、担当補佐から説明をいたします。

○財務課長補佐（南川達哉君） 議長、財務課長補佐。

○議長（大久保建一君） 財務課長補佐。

○財務課長補佐（南川達哉君） それでは、私のほうから説明させていただきます。資料2ページをお開きください。

こちら上段の表はですね、令和8年9月30日現在の二次予算概算要求事業について記載してございます。

各課から要求があった、令和9年度二次予算概算要求事業費につきまして、財政健全化を踏まえた精査後の内容と令和8年度当初二次予算の額との比較。それと、二次予算概算要求事業費の要求額。それと、財政健全化を踏まえた政策を比較した表となっております。

まず、令和9年度二次予算概算要求事業費につきましては、見直し後では65億229万7千円となっており、各課からの要求額が71億4,296万6千円でしたので、6億4,067万2千円の圧縮となっております。

この圧縮の主な要因といたしましては、国や道の補助採択がされてからの補正対応とする事業が約6億円ございました。それと、また一部事業で、今年度へのスライドがあったため、6億4千万という事業費が圧縮となっております。

次に、令和8年度当初二次予算額と見直し後を比較いたしますと、2億4,470万3千円の圧縮となっております。

この圧縮の主な要因といたしましては、下段の表に記載されているとおり、積算内容の見直しなどによるものでございます。

積算内容の見直しは、各課が令和7年度決算を踏まえて、改めて積算をしていただいた結果、約3億7千万円の圧縮となりました。

しかし、ふるさと応援寄付金奨励事業の寄付見込み額の減少に伴う事業費の減が圧縮額の多くを占めており、他の事業については、見直しによる大きな効果を得ることができなかったという現状でございます。また、財政健全化にあたり廃止した事業もありますが、それを上回る新規事業が出てきております。

この新規事業は、地域産業の発展や住民サービスの向上に必要なものと判断し、現段階で認めている事業でございます。新規事業および廃止事業の事業名、事業概要、廃止理由などにつきましては、別紙1、別紙2に記載しておりますので、後ほど確認していただければと思います。

今回の概算要求事業費の結果を受け、二次予算だけではなく、一次予算についても前年度より厳しい内容での指示および査定をしていきたいと考えてございます。

以上、9月30日現在の取組状況の報告とさせていただきます。

○議長（大久保建一君） これで説明は終わりですか。

○財務課長補佐（南川達哉君） はい。終わります。

○議長（大久保建一君） はい。説明が終わりました。

内容について詳しく審議ということはないんですけれども、まあ、聞いておきたいこと、質問等あれば受け付けますけれども、いかがでしょうか。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 2番目の表の積算内容を見直し114件。この114件なんかを僕たちに見せてもらえるってことはあるんでしょうか。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） この114件のすべての内容ということですか。

○議員（三澤公雄君） 廃止事業4つを見せてもらってるから、それと同じような公開の仕方っていうのは可能なのかなという意味で114件と申しました。

○財務課長（井口貴光君） はい。今すぐは出せませんが、資料としてはまとめてありますので、もし必要であれば、指示をいただければ後ほどお出しするのは可能でございます。

○議員（三澤公雄君） わかりました。

○議長（大久保建一君） どうします。その内容は求めますか。

○議員（三澤公雄君） それは後でみんなで諮って、着席しているときに答えを出すっていうやり方もあるだろうけど、まだ意見を呑んでるか。僕続けて。

○議長（大久保建一君） まず、じゃあ他に行きます。他。

○議員（三澤公雄君） はい。何を言おうとしたっけ。ごめん。

○議長（大久保建一君） 思い出したら。他、質問ある方。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） この事業費のうちの普通建設事業で、見直し効果は6億1,119万1千円ということですが、これは要は見送り方っていうんですかね、これ廃止してのものなのか。それとも、事業延長でももう少し検証するということで先延ばしするということの6億1千万円の減なのか、ということをやっと教えていただけますか。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） この見直し効果の事業費で6億4千万ほど減という内容ですが、各事業の増減はありますけれども、その積み上げの中で一番多くを占めているというのがサーモン種苗生産施設の整備事業。これが6億69万5千円という今の概算要求額になってございます。

それで、これについては、先ほど補佐のほうからも説明しましたとおりですね、国の交付金等を見込んだ中で事業ということでありますので、これについては補正対応ということで、この見直しの中にはですね、当初の中にはカウントしていないという状況でございます。

ということですので、その交付金が採択されましたら、補正にて対応させていただきたいという予定であるというのが主な要因でございます。

○議長（大久保建一君） 他。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） これは、今現在の取り組み状況なので、廃止だとか削減って決まったものが復活するっていう可能性はあるんですか。それでも、それはない、これ以上減らすことはあっても、復活とか増えるっていう可能性はあるのか、ないのか。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） 現段階での精査の状況でありますので、流動的というのはお話しさせていただきましたけれども、まあ、基本的には増えるというような部分についてはですね、ちょっと消極的な判断なのかな、というふうには捉えてございます。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保建一君） 他。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保建一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 公共施設の解体は計画的にやっていくと思うんですけど、今回ので何割ぐらい何%進んで、今後増減いくと思うんですけど、去年に比べたら今回は多いですね。

それで、10年か12、13年前も解体すごく多い年があつて、10年に一回ぐらいを大まかに解体するのかよくわからないんですけど、今回はだいたいその予定の何割ぐらい行っていく感じなんでしょうか。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） 今、赤井議員のご質問ですけれども、その公共施設の何%というのはちょっと抑えてないんですけれども、まあ、令和9年度に今解体部分を件数ちょっと多く貼り付けをしている状況にございます。

その理由については、10年、11年、12年と庁舎の関係だとか、あるいは義務教育学校の関係が事業費がそこに集中してしまうという部分で、たまたまそこにですね、解体を予定している事業がありました。

それについては、まず事業費がその年度に極端に大きくなってしまいう部分。それと、財源の確保がなかなか事業費が大きくなると厳しい状況にあるということも考慮した中で、その年度に張り付いている解体事業を前倒したというのが今回9年度でございます。

それもありますし、もう1つは、建設業に関係する事業が令和9年度がですね、なかなかなかったという状況も1つの理由としてございます。ということから、地域の建設事業者さんの育成という部分も考慮しながら前倒しを判断したという状況にございます。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保建一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 何かを作る時っていろんな補助金あるけれど、解体するときってほとんどないんですかね。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） 解体する部分については、解体をして、そこにまた目的を持った施設を建てるということであれば、対象になる起債があり得ますけれども、ただ単に解体するという部分であれば、起債の対象にはならないというのが基本的な考え方であります。

ただ、過疎債の関係で、ハード事業とソフト事業の借入れが可能となっておりますので、ハードは今言ったようなかたちではないんですけども、ソフト事業の部分では、そういった解体にその起債を当ててもいいですよという状況にありますので、その部分は、全体の事業のバランスを見ながらですね、判断をしていくことになるかと思います。

○議長（大久保建一君） いいですか。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保建一君） 他。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 財政健全化ということを謳った上での今回の試算（聞き取り不能）で、解体事業ってよほど危険なもの以外は、僕は急ぐものではないんじゃないかなというイメージを持っているものですから、これだけのものが新規事業で入ってきたということだったので、1つの答えとして建設業者に対する配慮という答えが1つ出てきましたけど、それにしても、割と積極的に解体するなど。他に財源を向ける向きがあるんじゃないかなというふうに思うんですけど、解体をこれだけ進めるっていうのは、まだ建設業への配慮っていうだけでは、ちょっとまだ納得しきれないですよ。そんなに危険性がある物件だという認識があまりないものが入ってるもんですからね。

もっと他に理由があるんじゃないかなと思うんですけども、あえて理由を探してちょっと納得させてもらえませんか。いや、ちょっと、僕の考え方が間違ってるかもしれないです。

解体事業は、そんなに急ぐものじゃないという認識を僕持っているんだけど、そこにそもそも間違いがあるとしたら、そこも指摘してもらいたいんですけど。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） 解体についてですけども、確かに三澤議員おっしゃるように、急ぐものじゃないんじゃないかという考え方もあるかと思います。

ただ、行政の部分については、建設の解体も含めてですね、計画的に事業を貼り付けていって、その部分については総合計画との関連もありますので、各年度ですね、極端に事業費が極端にでこばこにならないようなかたちで、あるいは、建物の危険度だとか、周囲に与えるその環境的な部分も考慮しながらですね、事業を年度に貼り付けていっているという状況にあります。

ただ、今回については、先ほども申しましたとおり、特定の年度にですね、事業費が相当集中するという部分、これが1つ大きな理由でございます。

それで、2つ目の理由は、先ほどおっしゃったように建設事業者の関係。まあ、どちらかというと、1つ目の理由のほうがウエイトは大きいというふうに考えてございます。

○議員（三澤公雄君） わかる努力はします。

○議長（大久保建一君） 他。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 114 件の積み重ねということで大変な作業であったと思いますけれども、その中で細かな施策については各委員会っていう議長のこともあったんだけど、ちょっとお伺いさせてください。

この別紙 1 の（仮称）出会い創出支援事業。いろいろ努力していく中で、この新規事業とはちょっと異質に見えちゃうんですけれども、これ町長公約でしたか。

それで、これだけ厳しい予算をしている中で、これを入れていく意義というものを改めてちょっとお伺いさせていただきたいんですけど、いろんな自治体でこのような取り組みが行われていることは承知しているんですけども、八雲町でも、かつては、はちかんであるとか、いろいろな試みがあって、ただ、民間ベースではどうしても続かなくて、という部分があったかと思いますが、僕は都市部では効果があるにしても、現状、地方では、なかなかこういう取り組みを自治体が支援するというのは、ちょっとどうかと思うんですけど、この考え方についてちょっとお聞かせ願えればと思いますけども。

○副町長（竹内友身君） 議長、副町長。

○議長（大久保建一君） 副町長。

○副町長（竹内友身君） 出会い創出支援事業ですけども、これまで八雲町の子育て支援というのが、子どもが生まれてからの支援は、ある程度充実してきたということで、皆さんご認識かなと思います。

その結婚するまでの取り組みがなかなか弱い部分があるんじゃないかということで、これは 1 つ、町長の子育て支援に対する公約の 1 つでもありまして、この辺、今関口議員おっしゃるように健全化を進める上でどうなんだというようなご議論かと思っておりますけれども。

まあ、経過としてはそういった流れがございまして、今回の予算に上げさせていただいております。まあ、町長の公約の部分もありますので、この場というより、予算の提案権というのがこちらにもありますので、その辺のご議論でやっていただければなとは思っておりますけれども、以上でございます。

○議長（大久保建一君） この削減した事業と新規の事業は、所管の委員会に上がってくるのかな、これから。順番としては。

○財務課長（井口貴光君） 議長、財務課長。

○議長（大久保建一君） 財務課長。

○財務課長（井口貴光君） 所管委員会への報告に関しては、事業の例えば内容変更だとか、廃止の部分については今考えていませんけれども、本当に新規事業、それについてはですね、委員会のほうにはご説明したいなというふうに考えてございます。

○議長（大久保建一君） そしたら、このことについて、所管で話し合う機会はあるということで。

○財務課長（井口貴光君） 新規事業に関してはっていうふうに捉えていただければと思います。

○議長（大久保建一君） 関口議員、それで。

○議員（関口正博君） わかりました。

○議長（大久保建一君） はい。他。

○町長（萬谷俊美君） いいですか。

○議長（大久保建一君） 町長。

○町長（萬谷俊美君） 私のほうから付け加えて申し上げますけれども。ここで政策的に私の判断で今出会い創出の部分もありますけれども、もう1つ、親元就農支援事業とございます。こういった政策的に新たにやろうとする考えの事業については、事前に委員会にお諮りするという考えであります。

ただ、他で例えば、施設の維持管理的な修繕事業だとか、そういったものについては、改めて委員会で事業所がでかいというものであれば別ですけれども、通常の範囲のそういった事業であるもの。まあ、当然解体もそうですけれども、そういった除雪機械を購入するだとかってというのは、とりあえずは施設の維持に関わるものということで、委員会での頭出しは今のところしないでいこうかなというふうに思っていますので、その辺をお含みいただければと思います。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 出会い創出も、あと、親元就農もかつ、萬谷町長の前の段階から予算決算委員会で議会でも発言はあった部分だと思ってるんです。

なので、各課のほうで、今回、新規提案で新事業としてあげる上での土台作りっていうのは、僕は議論は進んでたんじゃないかなと思っています。

まあ、町長の公約的な政策だとしても、内部ではある程度、考え方は整理できていた上での審議提案ってなんかなってるんですが、全くその白紙の状態から議会でさえさ、出会いの場づくりは議論してたし、親元就農の新規就農の支援に対しての差ってことは議論してたんで。

まあ、そういうふうか、各課のほうで土台を作ってたっていうイメージを持っていたんですけども、それでも全くこれはトップダウンで、この事業をやりたいって言って出てきたんですか。

○副町長（竹内友身君） 議長、副町長。

○議長（大久保建一君） 副町長。

○副町長（竹内友身君） 予算編成にあたってはですね、やはり町長の公約の部分も聞きながら政策をつくっていきますので、それはもう独断でこれやれじゃなくて、各課のほうでもどういった内容で進めたらいいというのは、議論しながら予算立てをしますので、その辺は、三澤議員の感じられている内容と一致しているというふうに思います。

○議長（大久保建一君） 他いませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） ちなみに、この廃止事業の中でこの小牧との交流事業。こういうのは、今の段階では小牧さんと話はしていないということでもいいのかな。

○財務課長（井口貴光君） してないですね。

○議長（大久保建一君） わかりました。他、なければ。

○議員（三澤公雄君） あ、一点だけ。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 現状この効果は物足りないと思っているのか、要するに、まだまだ足りないと思ってるのか、妥当の線まで攻めれたと思ってるのか感想をお願いします。

○町長（萬谷俊美君） 議長、町長。

○議長（大久保建一君） 町長。

○町長（萬谷俊美君） 今、三澤議員のおっしゃる感想でございますけれども、自分としては、思ったほど、前の議会でも答弁していますけれども、なかなかやっぱり削減できない状況であるというふうに思っています、議会でも答弁したと思いますけれども、さらなる職員の財政に対する意識も浸透させながら、9年度にさらなる行革を推進していかなければ、今回のこの状況を見ますと、やはり厳しいという判断をせざるを得ないというふうに思っています。

来年度、使用料の手数料の見直しも収入部分の確保という観点から6年目に入りますので、やらなきゃいけない時期というふうに判断していますので、それも含めてですね、検討しているということにしておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

○議員（三澤公雄君） 何回もごめんなさい。

○議長（大久保建一君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） この見直し案には、病院事業のことは、それは成果扱いなのかも含んで114件の中に見直しが入ってるのか。

○町長（萬谷俊美君） 議長、町長。

○議長（大久保建一君） 町長。

○町長（萬谷俊美君） 病院問題は、一緒に議会と特別委員会を設置していただいて検討する方向になったので、そこは未知数の部分もあるので、この中には含まれておりません。

○議長（大久保建一君） では、よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） では、1番の報告は以上といたします。ご退席いただきます。

【財務課職員退室】

○議長（大久保建一君） 続きまして、その他に入ります。その他、お持ち合わせの方いらっしゃいませんか。

○議会事務局長（野口義人） 議長、局長。

○議長（大久保建一君） 局長。

○議会事務局長（野口義人） さっきの三澤さんの取り扱いの関係。

○議長（大久保建一君） 三澤議員から提案っていうかご意見がありました、114件の削減内容について、資料を求めるか求めないかを諮りたいと思います。皆さんの意見を聞かせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議員（倉地清子君） あるならほしいです。面倒ですか。

○7番（寺田広樹君） 知りたいです。

○議会事務局長（野口義人） いや、財務課長は資料整ってるっていう話だったんで、説明必要とするか、説明いらなくてただの配布だけで。

○議長（大久保建一君） じゃあ、ただもらうっていうことで、よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） それでは、そのペーパーというか、その内容を後日もらって、デジタルで配布いたします。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） その他、持ち合わせの方ないですか。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 先ほどの三澤議員のこの解体事業への考え方についてっていうところで、議員の中でちょっとお話しできればと思うんだけど、解体そのものも1年1年延ばすごとにどんどん高くなっているんですね。

それと、以前僕もそれの中でお伺いした中で、過疎ソフトという起債を使うんですけれども、それもこれから自治体がどんどん公共の建物を壊していく中で奪い合いになっていく。

だから、計画的な解体っていうのは絶対必要だと僕自身は理解してるんだけど、これはやっぱり議会として、今回解体が非常に目立つ。行政側の答弁もあんな感じだったんだけど、解体建設費の上昇と同時に解体費も相当上がってますから、しかるべき時にしっかり解体するという考え方っていうのは、僕はすごく大事だと思いますし、これは起債のほうも含めてですけどもね。

それは、共通認識として議会として持ってたほうがいいのか。ここだけに偏っているっていうのは、ちょっと僕は違うものではないのかなというふうに思うんだけど、これ三澤議員どうでしょうかね。そこで理解っていうのはできないかな。

○議員（三澤公雄君） インフレを考えたときに、建設費が上がるっていう、建設コストが上がるということで、建てるものを急ぐとかそれは分かるんだけど、インフレっていつまで続くのかなと。その経済循環を考えたりね。

それであれば、見てくれは悪いけど、物置的に使うなら使い続けるっていうやり方も時期を見てっていう選択肢は、僕はまだあるのかなあって思ってたね。無理して、危険ではないなら、要するに他に使えるお金っていうイメージを持ってるんで。

○議員（関口正博君） まあ、利用価値として売却ができるのであれば、それは売却が一番いいでしょうし、民間売却であるとか。

ただ、それが叶わないものから学校関係とかってのは、きっとそういうのは要素って強いんだろうけど、そのようなかたちでしょうから。僕は積極的な計画的な解体は絶対必要だなって、僕自身はちょっと思っているんですね。

まあ、他の議員の方々の意見も聞いていただければ。

○議長（大久保建一君） 聞きます。ただ、これについて私思うのは、関口議員は前から計画的な解体の必要性というのを言ってきたて、それは理解できるんですけど。ただ、その考えを議会の統一見解とするということがなかなか難しいかなという気はするんですよ。

○議員（関口正博君） そうなんだ。

○議長（大久保建一君） だから、みんな14人いるから14人それぞれの考え方があると思うので、三澤議員のように他にもっとやれることを優先的にやったほうがいいっていう人もいるだろうし。

○議員（関口正博君） わかりました。

○議長（大久保建一君） だから、それは各議案の賃金ごとに皆さんで話し合って、今その場面で何が大事なのかっていうのは、それはまあ、それぞれの事案で審議していただくしかないかなと思っています。いいですか。そういうかたちで。

（「はい」という声あり）

○議員（三澤公雄君） でも、今、関口さんに言われたことで僕も気づきっていうか、気づかなきゃいけないことがあるんだなというふうに認識として加えられたので、発言してもらったことは助かりました。

○議員（斎藤 實君） はい。

○議長（大久保建一君） 斎藤議員。

○議員（斎藤 實君） 今、関口さんが言われた計画を持って解体するのは別にやぶさかではないと思うんですよね。ただ、僕はね、それ以前にせつかくあるものをどう有効活用して、町の財源に少しでも向けていけるのかなと。そこのところを行政が全く考えてないからさ。

そこのところだけはね、もうちょっと積極的に。例えば、熊石の建物だって、それじゃあ、農業の関係の例えばハウスはできないけれども、例えばシイタケとか、ああいうのには古くてもいいわけですよ。

それで、別に元に戻すわけじゃないから、そんなにじえんこかかんないでやれるんだけど、そういうような努力もして、少しでも町民税あげようという気がまえになってこないのが非常に僕は、行政の長年のずっとうやってきて、12月にはそこをちょっと一般質問しようかなと思って今考えてたところなんですけども。

○議員（関口正博君） お伺いしたいんですけど、この熊石郵便局。本来、これは郵政の建て物なんですけど、これは熊石町時代に払い下げを受けたということなんですかね。旧熊石郵便局の建物、これっていうのは、本来、郵政の建て物なんだろうけど、行政が壊すということは、熊石町時代に。

○議員（斎藤 實君） あ、あれ、町の建物にしちゃったの。

○議員（宮本雅晴君） 社協で使ってた。

○議員（関口正博君） なるほど。結構大きな。

○議員（斎藤 實君） そして、結構当時は使われておったもんだから。

○議員（関口正博君） それこそ使い道ないのかね。郵政なんていうのは、結構立派なもの建てるようなもの。

○議員（斎藤 實君） がらんとしてるからね。そういうものには非常にいいんでないかな。

○議員（横田喜世志君） いや、だから。

○議長（大久保建一君） 横田議員。

○議員（横田喜世志君） その元郵便局の建物だって、俺3年前にさ、売らないのかって言ってんだもん。

○議員（斎藤 實君） 買ってけれ。

○議員（横田喜世志君） でも、解体予定ですで終わってるもん。

○議員（関口正博君） なるほどね。

○議員（横田喜世志君） だから、それを何かに活かそうっていう人のためについていうことが全くないんだよね。だから、斎藤さん言ったように、そっちの方面の考えは全くない。だから、自分らは使わないから、今こういうふうに解体費って出ちゃうと、経費かかるだけで。

でも、それを処分しちゃえば、解体費かからないわけでしょう。

○議員（関口正博君） いや、売却が一番いいよね。

○議員（横田喜世志君） そりゃそうなんだわ。だから、やっぱり。

○議員（関口正博君） 買いなさい。2千万で買いなさい。

○議員（横田喜世志君）　そういうところを先にやるべきなんじゃないかなとね。教員住宅にしても何にしても。

○議長（大久保建一君）　今からでも間に合うと思うよ。

○議員（斎藤　實君）　いやいや、売らなくてもいいって。

（何か言う声あり）

○議員（倉地清子君）　はい。

○議長（大久保建一君）　倉地議員。

○議員（倉地清子君）　論点が違ってたらすみません。この公共施設の今あるものを議事係長がなんか資料でまとめてくれるっていう話はあったと思うんですけども、それをやっぱり皆さん共有していてもいいかなって思っていて、どれだけあるのかというのがかなりあったはずだったので、やっぱり計画的にいくのも必要だし、三澤議員が言った話もそうだし、まずはこの解体することが必要かどうかというのをみんなで資料を見るっていうのが大切かなっていうふうにちょっと思い出したので、言わせていただきました。

○議長（大久保建一君）　それは、総務委員会での中での話。

○議員（関口正博君）　一応、特別委員会の中でちょっと時間空いたもんだから、公共施設の現状、公共施設の総合管理計画で 10 年前に作った計画があって、その当時は、町有施設って 500 数十件あるというふうに。ただ、その後の壊したとか、使用しなくなったとかっていうものの整理がついてなかったんですよ。行政側が。

それで、議事係長が全部一つ一つ調べてくれた。今これが残っているものかどうかというもの。それをまとめたものを特別委員会の中でちょっと審議しようかなということで、ただちょっとそれまでは行ってないんだけど、まあ、もし議会の中で共有したいということであれば、それは資料も出来上がってますので、必要なことかなと思います。今倉地議員。

○議長（大久保建一君）　庁舎特別委員会でまとめたということ。

○議員（関口正博君）　その中の資料として、係長にまとめていただいた。

○議長（大久保建一君）　そしたら、それを皆さんで共有したほうがいいと思うというご提案なんですね。

○議員（関口正博君）　はい。

○議長（大久保建一君）　皆さん、それを共有したほうがいいと思いますか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君）　そしたら、それを資料として回してください。

○議会事務局議事係長（千代貴大君）　はい。

○議長（大久保建一君）　他ございませんか。

（何か言う声あり）

○議会事務局長（野口義人）　庁舎の特別委員会の前に配るということでしょうか。

○議員（関口正博君）　いや、資料だから作成していただいたから、なにも。

○議会事務局長（野口義人）　27 日に特別委員会の委員長とは詰めていったんですよ。今月 27 日ね。庁舎の特別委員会。その際でなくてあらかじめ。

○議員（関口正博君）　何か資料を配布する機会があれば、そのときに。

○議会事務局長（野口義人）　今紙ベースなんで。それをちょっと今デジタルに。

○議長（大久保建一君） PDF にして送れば。

○議員（関口正博君） まあ、結構なページ数にはなるけどね。

○議長（大久保建一君） はい。他ございますか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） なければ。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） 今日、初めてっていうか、初めてじゃないかもわかんないけど、デジタル運用をして皆さんがタブレットで見ていただいたんですけど、メモとかとれていたでしょうか。

○議員（水野博美君） とれません。

○議長（大久保建一君） もし、わからないのであれば、何度でも千代係長とか事務局に聞いて、より良い使い方をしていただきたいと思いますので、せっかくお金をかけたものですので、使えるよう、よろしくお願いいたします。

他になれば、以上で第 16 回全員協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

〔閉会 午前 10 時 34 分〕